

作品 No.111



生きものの“つぶやき”:

「よくきたね、ゆっくりしていきなあ。」

エッセイ:

「やっと着いた！こんにちは！大きいなあ。」

長い山道を歩くこと往復 10 時間、とっても大きな縄文杉さんに出会いました。年齢はだいたい 3000 歳。私よりずっとずっと先輩です。

縄文杉さんを見ていると、なんだかとても心が落ち着いて、これからも頑張ろう、という気持ちになりました。よく見ると、ゴツゴツしていてたくさんの多種の木の枝が生えていました。縄文杉さんにもっと長生きしてもらう為にも改めて自然を大切にしよう、と思いました。そのためにも、もっと環境について勉強して、木が住みやすい環境を作っていきたいです。また来るね。それまで、長生きしてね。(263 字)

生きものの紹介:

縄文杉

屋久島に自生する最大の屋久杉。推定樹齢 3000 年以上（一説には 7000 年とも。）

撮影場所・日時:

屋久島・2019 年 7 月 31 日

応募者の自己紹介:

1. 西村 はるほ／和歌山県立海南高等学校 1 年
2. 科学部
3. 将来の夢：まだ決まっていらないけれど、これからもっとたくさんの経験をして、やりたいことを見つけていきたいです。

審査員よりひとこと

雄大な写真が美しく、つぶやきもいい。素直な感情を書き綴ったエッセイから若い感性が感じられます。